

# 感染症ニュース

No.141 2017/01/13

## <流行中の感染症>

### 感染性胃腸炎

ノロウイルスによると思われる胃腸炎が大流行中。脱水症の併発に注意。

### インフルエンザ

全国的に流行が拡大している。現在の流行は、A 香港型が主流で、感染力が強く、症状も激しく、また、脳症も起こしやすいタイプで要注意。さらに、富山県内の一部地域では B 型も検出されている。

### マイコプラズマ感染症

2週間以上、咳が続く。特に、夜間の咳が多い。潜伏期間が2～3週間と長いため、長期間にわたって流行が持続し、園内・学校内・職場内・家庭内感染も多い。発熱が無く元気でも肺炎を起こしていることも多く、適した抗生剤を早期に開始することが望ましい。

### 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）

最近では5～6年周期で流行しており、今年は富山県内で大流行中。潜伏期間は2～3週間。髄膜炎、難治性中耳炎（治っても難聴になってしまう）、睇炎、精巣炎、卵巣炎など、合併症が多い。大人が発症すると、頭痛や発熱が持続し、入院することも多い。

### RS ウイルス感染症

毎年、秋から冬に流行する呼吸器感染症で、乳児が感染すると重症になりやすく、特に新生児が感染すると急速に重症化し、死に至ることもある。

### 溶連菌感染症

秋から春にかけて流行しやすい。一度かかると、何度も繰り返すことが多い。

### アデノウイルス感染症（咽頭結膜熱、プール熱）

発熱、のどの痛み、目の充血や眼脂がみられ、感染力が非常に強いいため、登園・登校禁止になる。胃腸炎症状がみられることもある。